



【RT+CDDP+DOC療法について】

(シスプラチン+ドセタキセル)



ID:

様

1

コース目



お薬の名前と治療のスケジュール (副作用の状況を考慮して、抗がん剤の影響が強に残っていると考えられる場合は、次の治療開始を延期することがあります。)

薬の名前		作用	めやすの時間	1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	1日目	
アロカリス注 パノセトロン注	吐き気止め	30分																															
デキサート注																					この週はお休みです。					この週はお休みです。							
ドセタキセル注	抗がん剤	1時間																															
硫酸Mg注 ラシックス注	副作用予防	30分																															
シスプラチン注	抗がん剤	2時間										腎臓を保護するため、たくさんの輸液を点滴します。無理のない程度に水分補給をして、頻繁に尿を出しましょう。																					
放射線治療	専用の治療室で行います		治療スケジュールに従い、基本的に月～金は放射線をあてます。土日はお休みです。																														



治療による副作用

: 注意が必要な時期

		1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	1日目	
自覚症状	食欲不振・吐き気																														
		食欲低下や吐き気がすることがあります。食べやすいものを無理なく食べ、水分を摂りましょう。																													
	手足のしびれ																														
		手足のしびれ、感覚が鈍などの症状があります。																													
	下痢																														
		便の回数が多くなったり強い腹痛をとまったり、水の様な便が出るときはお知らせ下さい。																													
	口内炎																														
		口の中が荒れて痛みが出ることがあります。歯磨き、うがいなど丁寧にしっかり行いましょう。																													
脱毛(頭髪・まつ毛・眉毛など)																															
	髪質が少し変わることもありますが、治療後半年程度でまた生えてきますので、心配しすぎないでください。																														
爪症状																															
	爪の変色、爪の周囲が赤くなったり痛いなどの症状がありましたらお知らせ下さい。																														
放射線皮膚炎																															
	放射線を当てた部分が赤くなったり、ヒリヒリすることがあります。塗り薬で対処することもあります。放射線を当てる前は塗らないでください。																														
検査値	白血球減少																														
		感染しやすくなりますので、手洗いうがいを心がけましょう。必要に応じて白血球数を上げる注射をすることがあります。発熱時はお知らせ下さい。																													
	赤血球減少(貧血)																														
		貧血の症状(動作時の息切れ、動悸)がでたりします。転倒に注意しましょう。																													
	血小板減少																														
	出血しやすくなって手足に赤い点やあざがでたり、歯ぐきから血が出たりすることがあります。転倒に注意しましょう。																														
腎機能低下																															
	顔や手足のむくみ、尿が少ない・出ないなどの症状が出ることがあります。																														
肝機能低下																															
	体がだるい、食欲がでない、皮膚のかゆみ、皮膚や白目が黄色くなる場合があります。																														

手や足のむくみ(治療回数が増えると生じることがあります。気になる症状がありましたらお知らせ下さい。)



- * 注射の針を刺している部分に違和感や浮腫、痛みなどがありましたら、すぐにお知らせください。
- * 上の表は治療のスケジュールや副作用が出やすい時期の目安を示したものです。必ずこの通りになるとは限りません。
- * それぞれの副作用に対して、必要に応じてお薬を使うこともあります。
- * 何か気になる症状が出たり、お聞きになりたいことなどありましたら、気軽に医師・看護師・薬剤師にお尋ねください。

香川大学医学部附属病院薬剤部